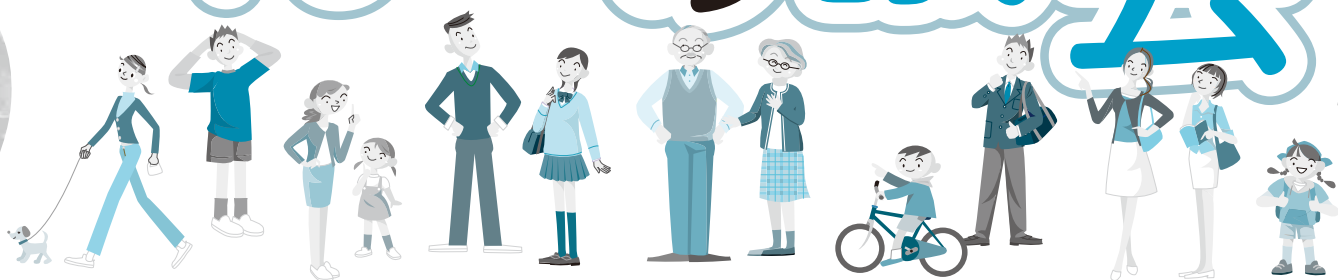


期待しています！

みんなの議会



今回の東日本大震災により被害の大きかった6町内会（蒲崎、新浜、長谷釜、二野倉、相野釜、藤曽根）の会長にお話しを伺いました。

蒲崎町内会



会長
菊地 武さん

住宅再建に支援を

蒲崎地区の住宅再建には、貞山堀の東と西では温度差があります。

東側では集団移転を望む声が多く、西側では地域の環境衛生面の早期改善を求めて住宅再建に前向きの人もあり、また、市街化調整区域に農地を取得して住宅再建の考えの人もあります。

地域を一つにまとめるのに苦慮しているのが現状です。

国、県、市からは、いまだに居住危険区域が示されていないので、早期の指導をお願いします。

議会からも農地の転用の迅速化や税制面での配慮などの支援をお願いします。

新浜町内会



会長
菅原一夫さん

地域産業の確立を

私は、このたびの被災を岩沼再生と位置付け、岩沼市の都市計画の抜本的な見直しが必要と思います。例えば、大字寺島地区などは農地として存続が可能だろうか。温暖化が進んで海水面が上がり、塩害が必ず来ることは間違いのないと思います。

メガソーラー基地やきのこ、もやしなどの日光を必要としない作物を有効活用して、農業と共生できる産業を推進することを議会でも考えてもらいたいと思います。明日の農業ではなく、50年後、100年後の農業、あるいは地域の生計の礎となるような仕組みを一緒に考えたいと思います。

メガソーラー基地やきのこ、もやしなどの日光を必要としない作物を有効活用して、農業と共生できる産業を推進することを議会でも考えてもらいたいと思います。明日の農業ではなく、50年後、100年後の農業、あるいは地域の生計の礎となるような仕組みを一緒に考えたいと思います。